

私たちの湘南御行会だより

湘南御行会発行

平成 29 年 1 月 1 日 179 号



新年おめでとうございます



新年のご挨拶

湘南御行会 会長 花土昌三

明けましておめでとうございます。皆さまはどんな新年を迎えられましたか。昨年の「今年の漢字」は「金」でした。リオのオリンピックで日本選手達が金メダルをいっぱい取ったうえ、東京オリンピックも決まり、4年後の金の期待感まで加わって決まったのでしょう。しかし昨年は世界中で何か怪しげな動きが広がり始めた年でもありました。「今年の漢字」はどうなるでしょう。「変」ですかね？ 変化することはむしろ非常に良いことなので、プラスになる変化を期待しましょう。そして私たちは変化に負けないように。昨年の新年会での綾瀬マンドリンクラブの力強い演奏と軽妙な進行は会員の皆さんに大好評で20周年記念にふさわしいアトラクションでした。4月の片瀬山の宇田川さんの吹き矢、7月の辻堂の瀬戸さんのマジックなど、よその会の会員の方たちのご協力もありがたかったことです。当会の会員五島さん、関口さん、岩田栄見子さんなど他所での素晴らしい活躍も目立ちました。グランドゴルフのメンバーの技術向上も今後を楽しみにさせます。定年70歳説も出てきました。老人会のあり方にも当然影響が出ます。その中でも当会の方針である入って楽しい会、活発に活動する会づくりはこれからも皆様のご協力をいただきながら続けていきます。会報は毎月発行できました。事務局岩田さんに感謝です。役に立つ記事も思わず笑っちゃう記事もありました。皆さんいかがだったでしょう、ご意見をお寄せください。そして投稿も大歓迎です。今年も転倒、風邪など高齢者の天敵にやられないよう注意して、元気で豊かな笑いで過ごせるようにいたしましょう。

酉年の人

酉(とり)年の幕開けです、御行会には酉年の方は6名いらっしゃいます。昭和20年生まれが1名、昭和8年生まれ5名の計6名です。今年の干支、酉年の特徴を調べてみましたのでその内容を纏めて転用します。⇒(当るも八卦当らぬも八卦です)とり年の人は、頭の回転が速く、せっかちです。ちょうど鶏が、尖ったくちばしで庭のあちこちをつついて回る、あの忙しそう姿に似ています。なお、とり年生まれの人に、ときとして、どもってしまう人が多いそうです。それも同じことで、すばやくかけめぐる考えに、口が追いつかないだけのことです。とり年のもうひとつの特徴は、おしゃれということです。とくに、男性は身だしなみがきちんとしていないと、他人にすきを見せるような気がして安心できないのです。また、女性は、色彩感覚の点ですばらしいものを持っている人が多く見られます。こういう人ですから、ずぼらな人がいると、その欠点が目につき、いらいらします。とり年生まれの人がともすれば神経質に見えたり、冷たいように見えるのも、こんなところに原因があるのです。さらに、几帳面さと、仕事熱心さ、そのうえに、人当たりのよさがあるので、いろいろな面で、まとめ役として、なくてはならない存在です。そのためか、酒席に出ることも多く、しぜんとお酒も好きになっていくのでしょうか。しかし、そうとうの量を飲んでも、けっして態度をくずすことはありません。これは、とり年を表す酉にサンズイをつければ「酒」となることからわかります。また、酉に星をつけると「醒(さめる)」ともなります。愛情面でも、夫婦仲はたいへんよく、どちらかというと、ムード派です。とり年生まれの人々の運勢は、天性楽しみの多い星の下に生まれていますから、ものには不自由せず、仕事にも恵まれた、ラッキーな人生を送ることができます。ただ、先が見えるあまり、他の人がよく納得できないうちに、自分だけ暴走するおそれがあります。どうですか当って居ますか？酉年のあなた。お身内に酉年の方がおられる、あなた。 岩田記

「風呂敷」のことを、いろいろ

子供の頃はものを包むと言えば、風呂敷が当り前の時代で、何処の家にも数枚はありました。

”布にモノを包む”という文化は、とても古くからあったそうです。当初はこの”モノを包む布”には名前がありませんでした。室町時代に、将軍・足利義満が、お屋敷に大きな風呂場を造りました。そして大名たちが将軍を訪ねて来ると、お風呂を勧めたそうです。その時、大名たちは脱いだ服を家紋が入った絹の布に包んで、他の人の服と間違わないようにしていました。さらにお風呂から上がった時は、床にこの絹の布を敷いて、その上で着替えをしたそうです。そんなところから”お風呂の敷きもの”のような、包みもの”すなわち『風呂敷包み』の名前が付いたのでは・・とされています。さて真意は？

風呂敷には小さなものから大きなものまで、様々な大きさがあります。包むものの大きさや、使い道に合わせて使い分けられることが出来ます。一番小さなものは『中幅(ちゅうはば)』で、大きさはおよそ 45cm。そして一番大きいのが『七幅(ななはば)』で、およそ 238cm お布団なら 2 組、ダブルベッドの上掛けなどが包めるサイズです。一升瓶からゴツゴツした物、衣装は言うに及ばず、何でも包めて、寒ければスカーフ代わりになる風呂敷。最近あまり使われていませんね。

さて何故か”唐草模様の風呂敷＝ほおかぶりをした泥棒が背負っている”そんなイメージがありませんか？

『唐草模様の風呂敷』は、明治から昭和にかけて大量に生産されて、どのご家庭にも、必ず 1 枚あったそうです。さらに昔は『唐草模様の風呂敷』で、嫁入り道具を包んで行って、嫁ぎ先のタンスの一番下の段には、その風呂敷を入れるのが良いとされていたとのこと。そこで泥棒は家に忍び込むと、最初にタンスの一番下にある風呂敷を取り出して、それを広げてから”盗み”に取り掛かったそうです。そしてお目当ての品物を風呂敷に包んで、背負って運び出していました。泥棒が手ぶらで忍び込んでも、そこにはどうぞ、お使い下さいとばかりに風呂敷が... 泥棒が沢山の品物を運び出すことが出来るほど、どの家にも風呂敷があったということです。こうして”唐草模様の風呂敷＝泥棒”のイメージが出来上がったそうです。

『大風呂敷を広げる』という言葉があります。これは”大きな風呂敷を広げても、その中に包むような大きなモノがないこと”から”実現不可能な計画を立てたり、大げさなことを言ったりする”という意味です。『”任せて下さい！”と、自信満々に言うから頼んだのに、大風呂敷を広げた割には、全くの期待外れだった』『あの人はお酒が入ると、すぐに大風呂敷を広げる』といったように使います。こういった言葉にも使われるほど、風呂敷は日本の生活に欠かせない存在ですが、紙製の手提げ袋、さらに布製の手提げ袋の登場によって、段々と使われなくなってしまったそうです。そんな中、風呂敷は『エゴ』でもあり、包んだモノを渡してからはたたんでしまえば、荷物にもならないこともあってその良さが少しずつ見直されているそうです。特に現在では、風呂敷は実用品としてよりも、贈り物としての需要がほとんどだそうです。これは風呂敷のお値段が幅広いので、予算に合わせて自由に選択がしやすいことや、デザインが豊富、かさばらないため贈られても邪魔にならない・・などの理由からだそうです。風呂敷を普及させるために『日本風呂敷連合会』⇒(そんな連合会が有るとは知りませんでした)では、2月23日を風呂敷の日としたそうです。これは数字の『223』を”つつみ”と読む語呂合わせとか。一升瓶 1 本を更に 2 本風呂敷に包むやり方は、不器用な私にはハードルが高くて出来ません。でも私達には馴染みの深い風呂敷、見直してみましよう。新たな使い道が見つかるかも知れません。幸せも包めるかなあ！

私は会報の記事で大風呂敷を広げないように気をつけます 岩田記

追)花土会長にお聞きしたら風呂敷は弁護士が持って歩いていた印象があります。そして終戦直後の頃の小冊子にアメリカ人が風呂敷はフレキシだと書いていたのを思い出しました。とのことでした。フレキシとはフレキシビリティの事だとすれば、一般的に柔軟性、変化への対応能力のことを言うので風呂敷は柔軟性のある素晴らしい文化遺産と言うことになります。

編集後記

今後の主な行事予定

- ◎1月11日(水) 役員会
- ◎1月12日(木) 市老連賀詞交換⇒会長出席
- ◎**1月24日(火) 12時 湘南御行会 新年会**
ホテルニュー向洋
- ◎1月27日(金) 初詣成田山 未だ空席が有ります
- ◎2月1日(水) 友愛研修会(高橋副会長参加)
- ◎2月8日(水) 交通安全フェスティバル(指名者)

輝かしい酉年の到来、会長の巻頭言にも有りましたが、今年も頑張って会報を発行しますので宜しくお願い致します。もう直ぐアメリカでは大統領が代わります。自分(米国)勝手な感が否めない、トランプさん、大丈夫でしょうか？日本にとってどんな変化が訪れるのでしょうか？チョット心配です。何が起きても、「湘南御行会」元気で明るく行きましよう もう直ぐ新年会楽しみです 岩田記